

# 3年 学年通信 vol.2

名古屋市立名東高等学校  
2022年4月28日(木)



新学期を迎え、気持ち新たに最終学年が始まりましたが、そんな4月もあわただしく終わろうとしています。明日からは10連休とはいきませんが、連休が始まります。連休が明ければあつという間に全統共通・記述模試、中間考査と試験のオンパレードです。とはいえ、そもそも何のためにこの「受験」というものが一大事になるのでしょうか。「大学進学のため?」、「将来のため?」、さまざまな進路がある中で、どのような選択をするか、皆さんにとって一つの分岐点を迎えます。その中で、多くの方が「大学進学」を選択しますが、では、大学に行って何をしますか?どうして大学に行くのですか?その答えを探しながら、ぜひこの1年を大事にしてほしいと思います。

## UNIVERSITAS “大きな勉強”

すべての知識、すべての相違点と出会わせる場

新しい人間性の発見とそのチャレンジの場

大学はそのような場です

さて、そんな分岐点の前に立ち足はだかる一つが「受験」となりますが、突破するために具体的なテクニックが必要です。この連休を有効活用するためにも、今一度日々の学習を振り返ってみましょう。そこで、今回は①学習計画、②授業の取り組み、③教科書・問題集の使い方の3点を見直してみましょう。

## 学習計画を見直そう!

★無理なく、継続できる計画を立て、模試や考査ごとに見直し、必要に応じて修正しよう。

学習する最適な時間や場所は人によって異なると思います。自分に合った時間や場所で継続できる分量を計画立てて、習慣づけることがいいでしょう。

スケジュール(例) 平日	ポイント
6:30 起床 7:00 朝食 8:00 登校 →英単語 or 古文単語 *1週間で100語覚えられるくらいのペース 8:25 ST	*継続できる無理のない計画を *1か月、定期考査、模試ごとに見直しを *隙間時間を大切に
16:00 英語(長文読解演習) 17:00 英語(イディオム) 17:30 仮眠 17:45 国語(現代文、古典、漢文演習) *日替わりで 18:45 数学(小問2,3問、大問1問演習) 19:45 下校 →帰宅 20:30 夕食、入浴 21:30 社会の教科書音読/理科の演習 *日替わりで 22:30 ラジオ英語講座などリスニング対策 23:00 授業の予習 24:00 就寝	*~20分が集中の限度なら、これを目安に計画 *演習の流れは以下の通り。 演習(20~30分) →採点 →解説 これで1時間以内に収まる範囲 *採点・解説は自己で行うが、客観的な添削が必要なもの(英作文、論述など)は教科担任に見てもらい、意見をもらうことも大切! *睡眠時間は7~8時間は最低限確保 *24時までには寝る

## 授業の取り組みを見直そう！

★このサイクルは鉄則

予習 → 授業 → 復習

「勉強したつもり」ではなく、「勉強した」と言える内容は何でしょうか？

〈各科から〉

英語 反復練習を厭わず、発音しながら書く

負荷をかけて予習 → 授業 → 完璧にするための復習

共通：11月から対策本格化 → 演習で速読力を鍛える

徐々にレベルを上げ、反復練習の徹底を

2次：問題レベルをあげながらの反復

数学 定理・公式などの本質的理解、疑問点はその日のうちに解消

共通：別解を考えながら解く

2次：基本問題と過去問の演習バランスをとる

国語 予習は分からない点を明らかにすること

共通：スピードと正確性を意識する

2次：設問分析力と答案作成力を意識する

## 教科書・問題集の使い方（使い分け）を見直そう！

★教科書を活用できていますか？

覚えるべきことがすべて書かれているのは教科書！

受験の基本範囲は「教科書全範囲」！

⇒教科書をフル活用すべし！！

「先生、どうすればいいですか…？」と聞いてくる（あるいは聞いてこない）皆さんの多くは、そもそも教科書、資料集を「読んでいない」ことが圧倒的です。「読んでいます…」という人の多くも、「読んでいるつもり」であって、実際に読んでいません。では、「読んでいる」と言えるのは、どのように教科書を活用できている人でしょうか？

英語・国語 ▷音読していますか？ +plus! 単語や文法事項をつかみながら読むべし!

数学 ▷苦手な人ほど繰り返すべし! +plus! 問題集と使い分けるべし!

理科・社会 ▷何度も音読していますか？ +plus! 教科書はインプット、問題集はアウトプット

ほぼ、共通して言えることは音読。ただし、音読だけでも不十分です。必ず、音に出し、頭で組み立て直し、紙面に文字で書き落とす。同時に教科書の行間を読み解き、メモを取る。問題集との併用は、アウトプットのため。もちろん、問題集や模試の活用も重要です。

①解き終わったらすぐに採点 → ②解説はじっくり読み込む → ③解き直し（ここからが勝負!）

このサイクルを繰り返す行。そこまでやって初めて「教科書を読みました」、「教科書を活用して勉強ができています」、ということではないでしょうか。

あれこれ参考書を増やさなくても、高い授業料を払って塾に入らなくても、今あるもので十分始められることはあります。ぜひ取り組んでみてはいかがでしょうか？

参照：『合格サプリ』4月号、『蛍雪時代』4・5月号